

令和5年度第二回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和6年1月25日(木)に、当研究所において令和5年度第二回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価8件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

令和4年度に終了した基盤研究5課題および富士山研究3課題、計8件に係る事後評価を行いました。なお、*印を付した課題については、研究員の転出により計画の途中で終了した課題について、提出された書面をもとに審査し評価を行ったものです。

【事後評価 8件】

[基盤研究]

定点写真を活用した景観問題発見のための基礎的研究 (R1~R4)

世界文化遺産富士山の構成資産を流れる「福地用水」の継承に関する研究 (R2~R4)

富士山にかかわる自然災害の防災教育支援システムの開発 (R2~R4)

抗酸化物質の摂取が富士登山者の急性高山病症状軽減に及ぼす影響 (R2~R4)*

放棄草原での植物とチョウの復元に関する野外実験－草刈とシカ柵の効果の検証－(R2~R4)*

[富士山研究]

富士火山東麓におけるテフラ層序の再考による噴火履歴の高精度化 (R1~R4)

火山監視観測システムの富士山への最適化とその情報発信に関する研究 (H30~R4)

富士山における歴史史料と火山噴出物の照合による噴火実態の解明 (R2~R4)*

3 研究課題に対する評価結果

(1) 終了課題8課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.3~4.4(平均3.9)で、全ての研究課題で、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈5段階評価〉

5:非常に優れている。

4:優れている。

3:良好・適切である。

2:やや劣っている。

1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和4年8月1日～令和6年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石原 和弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大山 勲	山梨大学大学院 教授	地域・都市計画学
委員	高橋 啓介	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	田中 将志	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森口 祐一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2)

令和5年度第2回富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時：令和6年1月25日(木)

場所：富士山科学研究所 本館棟 ホール

評価区分	研究種目	課題名	期間	研究代表者	評価点
事後評価 (対面)	基盤研究	1 定点写真を活用した景観問題発見のための基礎的研究	R1 ~ R4	池口仁	3.5
		2 世界文化遺産富士山の構成資産を流れる「福地用水」の継承に関する研究	R2 ~ R4	小笠原輝	3.7
		3 富士山にかかわる自然災害の防災教育支援システムの開発	R2 ~ R4	久保智弘	4.4
	富士山研究	4 富士火山東麓におけるテフラ層序の再考による噴火履歴の高精度化	R1 ~ R4	亀谷伸子	4.1
		5 火山監視観測システムの富士山への最適化とその情報発信に関する研究	H30 ~ R4	本多亮	4.3
事後評価 (書面)	基盤研究	6 抗酸化物質の摂取が富士登山者の急性高山病症状軽減に及ぼす影響	R2 ~ R4	堀内雅弘	3.8
		7 放棄草原での植物とチョウの復元に関する野外実験—草刈とシカ柵の効果の検証—	R2 ~ R4	大脇淳	3.8
	富士山研究	8 富士山における歴史史料と火山噴出物の照合による噴火実態の解明	R2 ~ R4	馬場章	3.3